

クリーンテック戦略関連ニュースレター

再生可能エネルギーに注目

洋上風力発電に大きなポテンシャル、日本でも重視

アクサIMのクリーンテック戦略が注目している分野の一つは、再生可能エネルギーです。

国際エネルギー機関（IEA）が昨年11月に発表した報告¹によれば、世界の総発電量に占める再生可能エネルギーの割合は2025年までに33%に達し、石炭に代わる最大の電力供給源になると予測しています。そして再生可能エネルギーの電源別に見た場合、風力と太陽光による発電能力は、2019年から2025年にかけて2倍近くに増加するとIEAは見ています。



洋上風力発電関連企業は、再生可能エネルギーの長期的な成長機会の恩恵を大きく受けると考えられます。

クリーンテクノロジー分野の成長機会を捉えた優れた企業を追求しているクリーンテック戦略では特に、洋上風力発電に注目しています。洋上風力発電の増設が進んでいる中国に加え、欧州などで大規模な新規増設が計画されているためです。洋上風力発電関連企業は、再生可能エネルギーの長期的な成長機会の恩恵を大きく受けるとみられます。

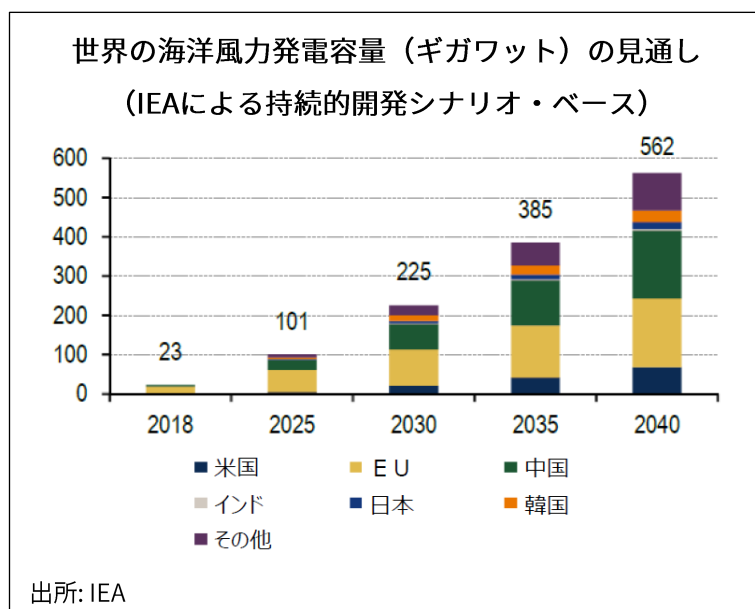
洋上風力発電企業、再生エネ拡大の恩恵を享受へ

洋上風力発電機の先進企業であるオーステッド（本社デンマーク）は、再生可能エネルギーの長期的な成長機会の恩恵を享受できる立場にあります。クリーンテック戦略のポートフォリオマネージャーのアマンダ・オトゥールは、「オーステッドは技術革新を進めており、日本など深い大陸棚が近くにある

従来型の風力発電装置（海底固定式）の設置が困難な地域でも設置可能な風力発電装置（浮体式）の開発にも取り組んでいます」と述べています。オーステッドは昨年、銚子沖洋上風力発電プロジェクトのため東京電力ホールディングスと合併会社を設立し、日本の洋上風力発電の入札への参加を計画しています。

2050年には発電量に占める再生可能エネルギーの割合を50～60%に

経済産業省が昨年12月に発表した「グリーン成長戦略」²では、2050年の発電量に占める再生可能エネルギーの割合を50～60%（現在は約19%）に引き上げることを目標としており、太陽光発電に加えて洋



上風力発電がその中核に位置付けられています。政府は、洋上風力発電推進のために支援規制や設備投資支援策の導入も検討しており、さらに外資勢の誘致や日本企業との提携も後押ししようとしています。また、経済産業省は風力発電の送電体制を強化するため、長距離送電海底ケーブル整備の検討を開始しました。

洋上風力発電機の主要メーカーであるシーメンスガメサ・リニューアブル・エナジー（本社スペイン）も日本およびアジア市場

に注目しており、同社は2019年に建設大手の大林組との提携を発表し、秋田県北部洋上風力発電事業（2024年以降運転開始予定）に参画しようとしています。

洋上の場合、漁業関係者との事前交渉などの課題はありますが、再生可能エネルギーの切り札として洋上風力発電は世界的に注目を浴びており、日本における市場拡大も注視されています。そして、クリーンテック戦略では、洋上風力発電を中心とした再生可能エネルギーの長期的な成長機会を追求しています。

(1) [IEA Renewables 2020 - Analysis and forecast to 2025](#)

(2) [2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略の策定](#)（2020年12月25日発表）。

関連リンク

[アクサIMのクリーンテック戦略について](#)

[ポートフォリオ・マネージャーが語るクリーンテック戦略への新型コロナウイルスの影響](#)

ディスクレーマー

アクサIMについて

アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサIM）は責任ある資産運用会社であり、長期的なアクティブ運用を行うことで、お客様、従業員、そして世界の繁栄を支援しています。当社の確信度の高い運用アプローチにより、代替資産クラスおよび伝統的資産クラス全般で最も良好な投資機会と考えられるものを追求しています。2020年12月末時点で約8,580億ユーロの運用資産残高を有しています。

アクサIMは、グリーン、社会、サステナブル市場における先進的な投資家であり、5,550億ユーロにおよぶESG（環境、社会、ガバナンス）統合済みのサステナブルおよびインパクト資産を運用しています。当社は、2050年までに、全運用資産における温室効果ガス排出のネットゼロ達成をコミットしており、株式銘柄選択から企業行動や文化に至る当社の事業にESG原則が組み込まれています。当社の目標は、社会と環境に有意義な変化をもたらしつつ、お客様に真に価値のある責任投資ソリューションをご提供することです。

アクサIMは20カ国27拠点において2,440名余の従業員を擁し、グローバルな事業を展開しています。アクサIMは、世界最大級の保険および資産運用グループであるアクサ・グループの一員です。

投資リスク及び費用について

当社が提供する戦略は、主に有価証券への投資を行いますが、当該有価証券の価格の下落により、投資元本を割り込む恐れがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動によっては投資元本を割り込む恐れがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではなく、運用の結果生じた利益及び損失はすべてお客様に帰属します。

また、当社の投資運用業務に係る報酬額およびその他費用は、お客様の運用資産の額や運用戦略（方針）等によって異なりますので、その合計額を表示することはできません。また、運用資産において行う有価証券等の取引に伴う売買手数料等はお客様の負担となります。

【ご留意事項】

当資料は、アクサ・インベストメント・マネージャーズの情報提供に基づき、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社が翻訳・作成した資料です。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券その他の投資商品についての投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の内容は、作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に記載された運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の情報であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当資料を事前の了承なく複製または配布等を行わないようにお願いします。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長（金商）第16号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本証券業協会

Ref-20342